

## ポンペイ

フシマへの哀歌

心臓をまさぐる両手に掬うもの  
そこに群がる亡者こそは  
血に飢えた八百万の神々

私の生命は何処にあるのか  
少なくとも私の中には存在しない

底なしの静寂のただ中に  
漆黒の闇の中に  
鉄剣の気配がする

否応なく死に直面し  
当然のごとく命を奪われる

赤く灼けた岩を噴き出す山は  
深い闇の訪れとともに、静かに  
星々の瞬きを包む煙を吐く

こみ上げる嗚咽と涙は  
決して誰にも届くことはない

音もなく降り積もる灰に  
あらゆる振動は吸い込まれ  
そして消し去られてしまう

恐怖に串刺しにされた先にある絶望を  
初めて知り、立ち尽くす

私の生命は何処にあるのか

どうやって消し去ることができるのか

そのままの姿で埋もれてゆく

そのままの姿で息絶えてゆく

(2011.6.18)